



一般社団法人

富山県作業療法士会 ニュース

平成25年度 No.1

第 108 号 平成25年 6 月21日

発行 富山県作業療法士会

会長 田 村 良 子

印刷 (株) チ ュ ー エ ツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：510人



さらに前進！

会長 田村 良子

今年度の県士会の事業には東海北陸作業療法学会の開催があります。

前回の開催では県士会員全員が運営にあたり成功させようと奮闘しましたが、今回は県士会員が積極的に発表することで成功させようとのねらいがあります。すでに皆さんの手元に演題募集要項が届いていることでしょうか。締切りは7月31日です。準備を始めましょう！各職場や部会でサポートしあっていきましょう。

学会のテーマは「連携を生み出す力～作業療法士が展開する多職種、多領域の協働～」です。このテーマに沿った仕事ができているでしょうか？否です。だからこそ学びましょう。発達障害部会では技術講座を公開すでに厚生労働省の研修会を終了した方が講師となり講座にして特別支援教育における作業療法士と教育関係者との連携について共に学ぶ場になっています。連携を生み出す力になれるようこの学会を契機にさらに前進していきたいと思います。

その他、介護予防、地域包括支援センターアドバイザー、福祉用具、災害時心のケアチーム、訪問リハビリ研修会、教育委員会専門巡回相談員等、他機関、多職種との協働事業がたくさんあります。これらの事業を担う作業療法士を増やしていくことも今年度の課題です。全体会を2回に増やし、1回は職場のリーダー研修会とし、人材の育成を

図っていきます。そして福祉厚生事業と作業療法の広報を兼ねて、滑川市のほたるいかマラソンに参加します。走る人、給水等のボランティアをする人で10月13日の日曜日を楽しく過ごし、明日への活力にしましょう。

10月17、18日には南砺市福野で第14回介護保険推進全国サミットinなんとが開催されます。そのテーマも、市民協働の『地域包括医療・ケア』を目指して～みんなが助け合い、支え合うまちづくり～です。是非聞きたいパネリストがずらり、そして開催市からのメッセージでは、リレー発表～多職種連携～一人ひとりの人生を支える地域会議～と題して、リハビリスタッフ、居宅介護支援事業所、訪問看護師、訪問リハビリ…と連なっています。ここでも発信していかなければなりません。

私事ですが、富山医療福祉専門学校を退職し自宅会員となりました。所属がないので、「作業療法士の田村です」と挨拶するので作業療法士の宣伝にはなるかな…。わずかな年金が頼りの生活なのに、高額な健康保険料の支払いでびっくり、コッコッ掛けた生命保険も65歳を過ぎると給付金は半額になるとか。老後の生活の危うさを実感しています。そんな私にとっては、若い皆さんの活躍を見せてもらうことが前進のエネルギー源です。今年度も一人ひとりの知恵と力の提供をお願いします。

第14回富山県作業療法学会を終えて

運営委員長 谷野呉山病院 丸本 薫

平成25年2月24日サンシップ富山にて「高めよう！作業療法の現場力」をテーマに掲げ第14回作業療法学会を開催しました。今回の学会は・厳冬の開催・演題発表はポスター形式のみで開催・アクティビティ教室は時間を別枠に設け3種目同時開催する、という初めてづくめのプログラムを組み立ててみました。内心は上手く運営できるかの心配に加え、連続降雪、インフルエンザの流行にもハラハラさせられながらではありましたが、大きなトラブルもなく終了できました。ご協力いただきました皆様に感謝いたします。

参加者は198名と予定よりやや少なめではありましたが、演題発表は21題と過去の学会では最多の申し込み数がありました。各分野からの多岐にわたる内容の演題であり、室内はあふれんばかりの聴講者がいましたが、討論に活発さが欠けたという意見もきかれ、お互い切磋琢磨をしていく本来の学会の姿としては、欲をいえばもっと積極的に参加できる基盤作りが必要と、今後の課題も見えました。

特別講演は認知症研究の第一人者であり、地域での実践としても先駆けである南魚沼私立ゆきぐに大和病院の宮永先生をお呼びして「若年認知症の人を地域で支える」をテーマにお話をいただき

ました。人間はいくつになっても病を患っても目的を持った役割・活動がある事はその人に生きる力を与える事ができるというお話を伺いました。作業療法士はその活動を提供・支援できる職種の一つとして、各関係者に推薦もしていただいているとの言葉もうかがい、今後の作業療法士の仕事に広がりと深みがみえてきました。

アクティビティ教室は安価にできる作業を選び3種類の教室を開催しました。どこも盛況で参加者は現場で使えるよう真剣に取り組んでいる様子が伺えました。しかし何よりその教室を開いていた講師が一番得る物が多かったようで「人に教えるのは難しかった」「もう少し工夫をすればよかった」などと口にしておられました。この教室は準備に手間がかかり開催も大変なのですが、作業療法士という職種の成り立ちを考えれば是非、この教室については今後の学会でも続けていただければと思います。作業をすることは人間が生まれながらに持っている能力であり、生きるために必要なことであること、そして作業療法はその作業に関われる技術をもつ職種であることを今回の学会で一層深く心に刻み学会を終えることができました。今一度皆様に感謝申し上げます。

お知らせ

地域リハビリテーション部では、壁新聞「きつときと」を作成しています。新聞の内容を通して、地域の方々や患者さま利用者さまが、より元気よく意欲的な生活を送って頂けるような手助けとなればと考えています。

新聞はA3用紙1枚・親しみやすいよう手書きで作成しています。各病院・施設等の掲示し、他職種の方々や患者さま利用者さまへの情報提供の一部としてご活用頂ければ幸いです。

また、こんな記事を掲載してほしい、こんなことが知りたいなどのご意見があればどしどしご連絡下さい。

(南砺市民病院デイケアセンター 鷺尾智子：FAX：0763-82-1853まで)

訃報

長い間賛助会員としてご支援頂いた㈱クラフト工房 平野重喜氏が12月19日ご逝去されました。これまでのご厚情に深く感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

第14回富山県作業療法学会に参加して

ふくの若葉病院 飛田 あゆみ

平成25年2月24日にサンシップとやまで開催された第14回富山県作業療法学会に参加しました。

今回「興味を示した作業活動を用いてADLが向上した慢性疼痛患者の治療を経験して」という演題でポスター発表を行いました。きっかけは、地区の症例報告会で発表した時に、学会に出してみてもどうかと薦めて頂いたからです。正直なところ、「せっかくの機会だし、頑張ってみよう！」という気持ちが2割、「学会ってなんでか堅苦しいし、難しそう…。人前で発表なんて不安だし、本当に私にできるの？」という気持ちが8割を占めていました。

初めての発表だったため、何から準備していいのかわからずに戸惑うことばかりでした。自分が最も伝えたいことは何か、わかりやすく伝えるためにはどのようにすればよいか、作っては直しての繰り返しでした。職場の先輩方や他施設の先生方に協力して頂き、何とか自分の伝えたいことをかたちにすることができました。

学会当日は、特別講演や他の先生方の発表で興

味深いものがいくつもあって多くのことを学べられたらいいなと思っていましたが、そんな余裕などないくらいに緊張していました。発表では、説明の言い間違いや途中で詰まってしまうことが多く、最後の方では時間がなくてとても早口になってしまい、質問も上手く答えることが出来ませんでした。反省する点が多くありましたが、学会に向けていろいろな文献を読み自分なりに考えをまとめ、患者さんの体の変化について理解を深め、自分が行ってきたアプローチを振り返ることができたことはとても貴重な時間だったと思います。

今回、職場の先輩や病棟・事務職員、他施設の先生方と多くの方に協力をして頂いたことで発表をすることができました。自分一人の力では、絶対に最後までやりきることができなかったと思います。忙しい中、多くの時間を割き、たくさんの意見やアドバイスを下さった先輩方に感謝し、今回の経験を今後に活かせるように努力をしていきたいと思っています。

施設紹介

西能病院 天野 洸平

当院は、今年ついに開院51周年という大きな年を迎えることができました。昭和37年に開院以来、長くお世話になった五福を離れ、昨年度高田に移転新築しました。

新しい院内は白を基調とする、ひろびろとした空間になっており、患者様やご家族、そしてスタッフも働きやすい環境が整えられています。

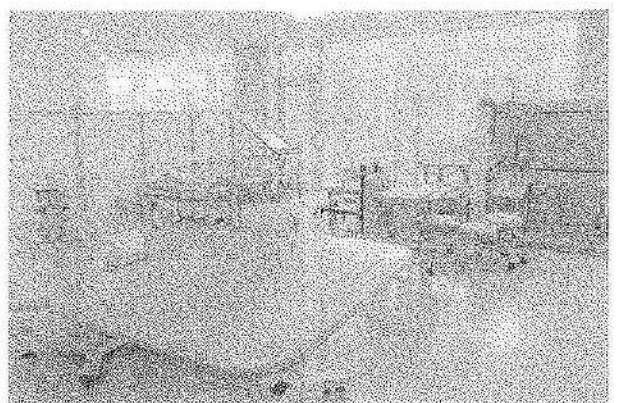
我々スタッフが勤務しているリハビリテーション室も、壁をなくし、スペース一面を見渡せるような設計となっており、非常に訓練しやすくなっています。

当院のリハビリは、整形疾患を中心とした運動器リハが大半を占めており、その中でもOTは、上肢疾患、大腿骨疾患、腰部疾患、頸部疾患、認知症高齢者に対して訓練を進めています。また、当院の一番の特徴としては急性期病院というところで、術後早期（翌日）からリハビリを開始し、早期退院・社会復帰ができるように支援を行っていることです。最近では、退院前自宅訪問も積極的に行っており、退院後も安全に生活を送ってい

ただけるよう環境設定を行い、サポートを行っています。

現在OTは、病棟3人、外来1人体制と限られた人数ですが、患者様が毎日楽しく、リハビリを行っていただけるようスタッフ一同笑顔の花を咲かせています。そして何より少しでも患者様が安心して自宅復帰できるように励んでいます。

今後もこの新しいリハビリテーション室にて、充実したリハビリを行い、質の高いサービスを提供していけるように務めていきたいと考えています。

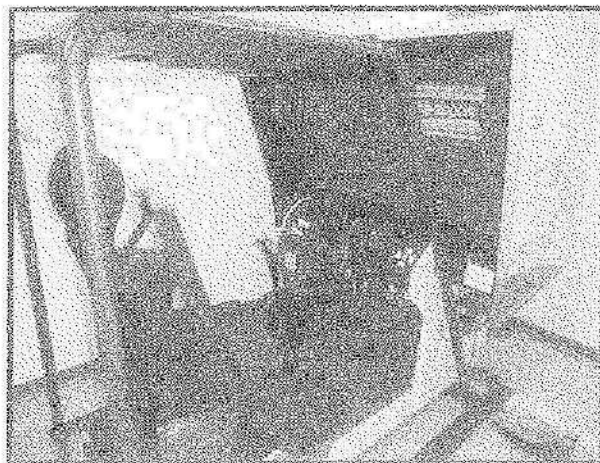


運転シミュレーションの紹介

富山県高志リハビリテーション病院 右近、中林

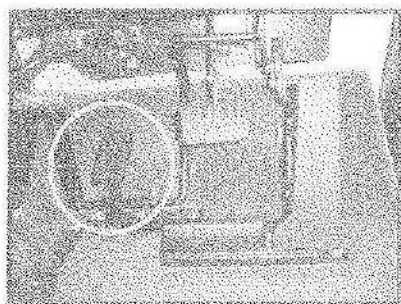
当院では、自動車シミュレーションを利用し、運転の評価を行っています。

今回は、その運転シミュレーション装置（三菱、DS-2000R）を紹介します。

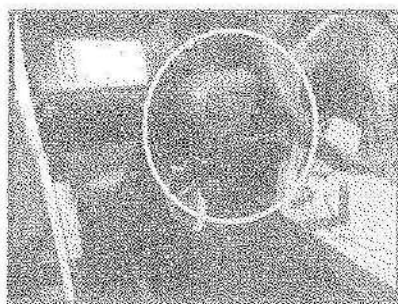


●障害に応じた設定●

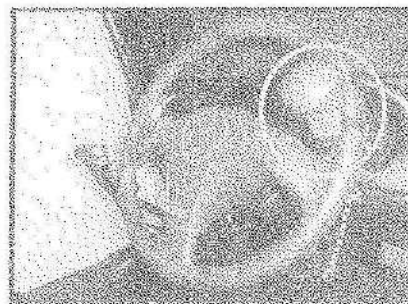
具体例を紹介します。



左アクセル（右麻痺用）
左足でアクセル操作します



手動アクセル・ブレーキ（対麻痺用）
手を使用してアクセル・ブレーキを操作します



ハンドルノブ（片・対麻痺用）
片手ハンドル操作ができます

適正検査を行うことができます
アクセル・ブレーキ踏みかえ検査
視覚反応検査、ハンドル操作検査
アクセルペダル操作検査 etc…

CG体験では、危険予測体験ができます
画面上の路上走行での運転操作
（例）人の飛び出し、バイクの巻き込みetc…
難易度は3段階。1回あたり15～20分。



※現在、高次脳機能障害（注意障害、視空間障害など）の方の評価では、当院の運転シミュレーションだけでは判断し兼ねることもあり、運転研修センターや自動車学校に同行し、評価することもあります。

第13回東海北陸作業療法学会に向けての思い

学会運営委員 広野 弘美

早いもので、第13回東海北陸作業療法学会も残り5ヶ月をきろうとしています。会員の皆様のお手元には、学会開催ならびに演題募集要項を送付しましたが、目を通して頂けたでしょうか。今回の学会…「えっ！2日間みっちり！」「技術講座や教育講演・特別講演・シンポジウムなど多い！」「演題登録がオンライン登録？」などなど、いいにしろ悪いにしろ感じられたのではないのでしょうか。さて、現在の学会準備は、砂原学会長、小倉運営委員長長の2名を中心とし、計10名の運営委員が定期的集まり、話し合いを進めております。そして開催内容が具体的に決まるにつれ、少しずつ少しずつ運営に関わる人の輪は増え、私自身これまで面識のなかった他施設のOTの方と話し合うことも多くなりました。与えられた仕事をひたむきに取り組む方、連携が第一と考え夜遅くても構わず連絡を取り合う方々、頼まれた事はNOとは言わず働く方、新しい企画を提案してくれる方、など…「実りの多い学会にしよう！」と

関わる誰もが同じ目標を持ち行動しています。でも、今現在準備に関わっているメンバーの行動だけでは、学会は盛会にはなりません。私は、学会の下準備をするのが運営委員なら、華やかに賑やかに会を盛り上げるのは発表者であり、質問者であると思います。参加する誰もが協力し合ってこそその「実りの多い学会」です。東海北陸学会という学会名からは、他県からも多くOTが参加するだろうと期待したいところですが、実際は担当県士会員の多くの方のご協力と参加がないと盛会には至らないのが状況です。「自らの臨床を振り返る機会として発表し、OT同士話し合い、交流し、刺激し合い、有意義な時間を共有しよう」という同じ目標を持って参加して頂きたいと思います。県士会会員の皆さんはこれまでも部会事業や活動に真摯に取り組んでおられ、その結束力は素晴らしいです。今回もさらなる団結力で学会を盛り上げるよう、皆さんお願いします!!

平成25年度 新・再入会

氏 名	現所属	新 卒
魚 岸 直 美	老健みしま野苑一穂	新 卒
折 江 千 尋	介護老人保健施設シルバーケア城南	〃
島 武 史	介護老人保健施設福光あおい	〃
谷 口 美 利	老人保健施設ちょうろく	〃
中 嶋 一 輝	厚生連滑川病院	〃
永 森 翔 子	山田温泉病院	〃
中 山 栞	谷野呉山病院	〃
西 森 三 紀	厚生連高岡病院	〃
原 田 聖 也	西能みなみ病院	〃
平 野 美 紀	深川病院	〃
横 川 千 尋	南砺市民病院	〃
吉 久 友 梨	アルペンリハ病院	〃
岩 倉 聡 子	富山大学大学院	有資格者
小 沢 京 子	八尾総合病院	〃
河 崎 麻 衣	介護老人保健施設レインボー	〃
北 田 祐 大 郎	にしの老人保健施設	〃
砂 田 真 希	榎谷整形外科ダイケア	〃
中 平 昇 吾	藤の木病院	〃
松 本 大 輔	富山協立病院	〃
清 水 理 恵	白光苑デイサービスセンター	〃

平成25年度 会員異動等

種類	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	熊南清夏	自宅	リハビリセンター あんじゅーる	
異動	出戸浩平	栗山病院	野村病院	
異動	能登健司	アルペンリハビリテーション病院	ゆりの木の里	
異動	池畑広明	山田温泉病院	チューリップ苑	
異動	佐藤佳子	老健 豊佳苑	老健 ささづ苑	
異動	水口淑子	富山市恵光学園	高岡市立きずな子供発達支援センター	
異動	向麻衣	自宅	なごみの郷	
異動	川上陽子	介護老健施設 おおぞら	光ヶ丘病院	
異動	岩田亜樹	南砺中央病院	ちょうろく	
異動	舟坂千織	老健つるぎの庭	老健 風の庭	
異動	山西友紀子	相率福祉会 デイサービスくつろぎ日和	滑川市医師会訪問看護ステーション	
異動	福澤美久	老人保健施設 ちょうろく	老人保健施設 カリエール	
異動	林祐子	介護老人保健施設 つるさんかめさん	老人保健施設 ちょうろく	旧姓 水島
異動	今井清子	高岡市きずな子ども支援センター	老人保健施設 ちょうろく	
異動	田村良子	富山医療福祉専門学校	自宅	
異動	菊池あけみ	アルペンリハビリテーション病院	老健 長寿苑	
異動	扇山和也	リハビリ・デイサービスおやべ	リハビリ・デイサービスたかおか	
異動	小川恵理	シルバーケア羽根苑	南砺市訪問看護ステーション	
異動	野田理央	レインボー	南砺市民病院	
異動	城崎恵理子	桜井病院	自宅	
異動・改姓	林由香里	アルカディア水見	アルカディア雨晴	旧姓 島倉
異動・改姓	上野智代	自宅	アルペンリハビリテーション病院	旧姓 石川
異動・休会	四田望	富山市恵光学園	自宅	
異動・休会終了	松本華世	自宅	公立 南砺中央病院	
改姓	岩倉慶子		つるぎの庭	旧姓 島山
改姓	田代豊子		八尾総合病院	旧姓 竹内
改姓	八倉巻舞		富山県高志リハビリテーション病院	旧姓 佐々木
改姓	根義佑美		松岡病院	旧姓 川原崎
改姓	野上恵理子		富山市障害者福祉センター	旧姓 小竹
改姓	山口可奈子		新川老人保健施設	旧姓 古井
改姓	大谷内卓		金沢医科大学水見市民病院	旧姓 白川
改姓	清都由美子		老健 やすらぎ	旧姓 森
改姓	湯口美香		老健 さくら苑	旧姓 杉江
休会終了	増垣重弥		介護老人保健施設 なごみ苑	
休会終了	堀友里		厚生連 高岡病院	
休会終了	野尻可南子		南砺市民病院	
休会終了	福林由香		温泉リハビリテーションいま泉病院	
休会終了	谷口しほ		済生会 高岡病院	
休会終了	永原詩乃		富山大学付属病院	
休会終了	早川俊秀		自宅	
休会終了	川崎加奈恵		池田リハビリテーション病院	
休会	分部明日香		厚生連高岡病院	
休会	高澤真菜美		あゆみの郷	
休会	砂田環		みしま野苑一穂	
休会	石田美洋子		わらび学園	
休会	宮本春奈		厚生連高岡病院	産休・育休
休会	青木明里		砺波誠友病院	
休会・改姓	愛宕美緒		常願寺病院	旧姓 荒川
退会	早川美菜	富山県高志リハビリテーション病院	県外へ転居	
退会	井上忍	温泉リハビリテーションいま泉病院	県外へ転居	
退会	片山朋子	光ヶ丘病院	県外へ転居	
退会	萩原由香	老人保健施設 なごみ苑	県外へ転居	
退会	高田靖子	厚生連 高岡病院	県外へ転居	
退会	清水麻由美	自宅	県外へ転居	
退会	山崎友寛	南砺市民病院		

平成24年度 第9回理事会

場所：富山医療福祉専門学校会議室

日時：25年2月18日(月) 19:00～

参加者：田村、作田、浅生、高林、田邊、
松岡、吉波、広野、古澤

以下のことについて検討し、承認されました。

〈検討事項〉

1. 富山県災害時心のケアチームの参加について
1チーム3人－①精神科医（リーダー）、②看護師、③精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士のいずれか。県西部と東部に1チームずつ作る混成チームに参加する。
活動は1チーム1週間。県士会として参加する作業療法士を推薦する。
2. OT協会広報部 web会議導入について
各県士会がそれぞれ独自の広報活動をし、特に問題がない。web会議のための環境設定を行っても、それに見合う頻度の会議がなされるかは疑問のため、導入には参加できない旨を協会東海北陸ブロック広報担当者に連絡済。
3. 調査部調査報告書について
「地域・行政に対する作業療法士の関与の必要性和実態について」の調査報告書内容を確認し、修正後関連機関へ郵送予定。作業療法士会クリアファイル、作業療法パンフレットを同封する。
4. 県士会ニュースの原稿確認
田村会長、印刷前に確認する。
5. 平成25年度事業計画案
ほたるいかマラソンに参加、ならびにボランティアとして給水活動予定。福利厚生部が参加者を取りまとめる。大会終了後は、弁当を配布しての懇親会予定。

〈報告事項〉

1. OT協会福祉用具支援システム運用事業について。県士会からの担当者は沢木氏に依頼済み。
2. 富山県作業療法学会ISSN登録手続き完了通知あり。
3. OT協会「認知症初期集中支援チーム」に対応する研修会開催（3月17日）。県士会からの派遣無し。但し、会員所属施設から2名参加予定。
4. ほたるいかマラソン（10月13日）滑川市体育協会が開催。8月に打ち合わせあるため事前にボランティア参加人数を伝報告する必要あり。
5. OT協会役員改選におけるインターネット・トライアル投票協力依頼。理事・各部メールで

連絡済み。

6. 南砺市長より「第14回介護保険推進全国サミットinなんと」実行委員会委員への就任依頼あり。田村会長承諾。

平成24年度 第10回理事会

場所：富山医療福祉専門学校会議室

日時：25年3月11日(月) 19:00～

参加者：田村、作田、浅生、高林、田邊、谷口、
橋爪、松岡、松本、丸本、吉波、広野

以下のことについて検討した。

〈検討事項〉

1. 臨時総会及び研修会の役割分担
2. 平成24年度臨時総会議案書の作成
3. 第13回東海北陸作業療法学会予算案の検討
4. 作業療法パンフレットの作成
5. 理事業務役割分担

平成25年度 第1回理事会

場所：富山医療福祉専門学校会議室

日時：25年4月15日(月) 19:00～

参加者：田村、作田、浅生、田邊、谷口、橋爪、
松岡、松本、丸本、吉波、広野

以下のことについて検討した。

〈検討事項〉

1. 都道府県連絡協議会委員の選出
窓口を丸本氏とし、理事で都合のつく者が出席する
2. 平成25年度リハビリ従事者業務啓発事業の申請
今年度も申請し、高校生への作業療法体験会や健康と長寿の祭典で事業を行う予定
3. 作業療法パンフレットの作成
理事全員で検討中
4. 総会日程 6月8日(日)13時から開催予定
事務局総務部から会員へ公文書郵送

〈報告事項〉

1. 平成24年度地域医療再生リハビリ従事者業務啓発事業補助金実績報告書3月28日に提出済み
2. 平成24年度医療関係者うつ病等対応力向上研修事業実績報告書提出3月29日提出済み
3. OT協会功労者表彰
元起氏（厚生連滑川病院）、本江氏（高志リハ

- ピリテーション病院)、藤田氏(谷野県山病院)
4. 平成25年度富山県教育委員会専門巡回相談員
新川地区・松本氏(くろべ工房)、中新川地区・渡邊氏(富山医療福祉専門学校)、高岡地区・古井氏(高岡市きずな子ども発達支援センター)、砺波地区・浅生氏(富山病院)
 5. 地域包括支援センター
アドバイザーOT名簿確認
 6. 県士会功労表彰
笹山氏(三輪病院)、田邊氏(みしま野一穂)、松岡氏(ケアポーロ庄川)、佐々木氏(砺波総合病院)、吉澤氏(高志学園)、丸本氏(富山医療福祉専門学校)
 7. 生涯教育制度推進委員 選出検討中
 8. 東海北陸作業療法学会
臨時総会の際に予算案について審議し、参加費に関しては再度、6月開催予定の定期総会にて審議してもらう。参加費は2日間で5,000円とする予定。

平成25年度 第2回理事会

場所：富山医療福祉専門学校会議室

日時：25年5月13日(月) 19:00～

参加者：田村、浅生、田邊、谷口、橋爪、松岡、
松本、丸本、吉波、広野

以下のことについて検討した。

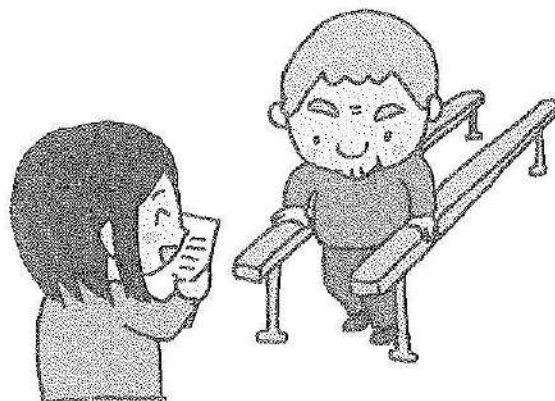
〈検討事項〉

1. 都道府県連絡協議会への出席
高岡氏から丸本薫氏に交代。6月27日(木)OT学会前日に開催される連絡協議会には、学会に参加する理事及び東海北陸学会運営委員に出席を打診。
2. OT協会ガンの研修会参加
すでに厚生労働省の研修会を終了した方が講師となって、各地でガンの研修会が開催できるようにするための研修会を開催。がんのリハビリテーションを実施している砺波総合、厚生連高岡病院、富山大学病院、富山赤十字病院に打診。
3. OT協会国際交流アンケートの内容検討
2014年の国際OT学会に参加する外国のOTを県士会で招いて研修会を開催するかなどのアンケート。企画はしない予定。
4. 総会議案事項
24年度決算報告の数字に誤りがあったので修正。H24年度事業ならびに決算報告・第13回東海北陸作業療法学会予算案について審議する。

5. リーダー研修会の開催内容
講師はOT協会に問い合わせ。各施設より1～2名の参加とし、9月開催予定。

〈報告事項〉

1. OT協会福祉用具相談支援システム運用事業
申請書提出 アドバイザー澤木氏
2. 介護福祉社会
平成25年度「よくする介護」研修の協賛
3. 介護実習・普及センター
福祉用具の展示会の協賛
11月1・2日 サンシップとやま
4. 精神保健福祉協会第1回社員総会
5月23日14:30～ 欠席報告済
5. 日本精神保健福祉連盟会長表彰推薦
20年以上勤務・50歳以上の条件に該当者なし
6. 生涯教育制度推進委員 検討中
7. 訪問リハビリリーダー研修 5月16・17日
東京に矢野神経内科 菱田氏派遣
8. 東海北陸作業療法学会
運営委員依頼・後援・協賛広告・学会開催案内の各公文書発送。東海北陸ブロックに加え、長野・新潟県士会にもホームページに掲載依頼。開会式祝辞は県医務課に依頼予定。
9. ほたるいかマラソンへの参加(10月13日)
県士会の広報活動及び親睦として参加。理事会と福利厚生部で担当。広報グッズを用意する。



役職名	氏 名	備考
会 長	田 村 良 子	富山医療福祉専門学校
副 会 長	作 田 清 子	砺波総合病院
常務理事	広 野 弘 美	富山労災病院
常務理事	丸 本 薫	谷野呉山病院
常務理事	松 岡 暢	ケアポート庄川
理 事	浅 生 弘 美	国立病院機構 富山病院
理 事	高 林 一 彦	アルカディア雨晴
理 事	田 邊 はるみ	みしま野苑一穂
理 事	谷 口 利 香	あさひ総合病院
理 事	橋 爪 佳 美	チューリップ苑
理 事	松 本 和 美	高志通園センター
理 事	吉 波 美穂子	富山医療福祉専門学校
監 事	高 岡 厚 視	富山県立中央病院
監 事	北 野 満	リハビリ・ディサービスおやべ
事業局長	松 岡 暢	ケアポート庄川
学術部長	田 邊 はるみ	みしま野苑一穂
基礎医学部会長	河 合 雄 介	桜井病院
身体障害部会長	裏 田 将 司	南砺市民病院
精神障害部会長	堀 口 明 美	谷野呉山病院
発達障害部会長	永 口 淑 子	高岡市きずな子ども発達支援センター
障害老人部会長	宮 北 友 絵	さくら苑
地域リハビリテーション部会長	鷺 尾 智 子	南砺市民病院ディケアセンター
アクティビティ部会長	佐々木 和 也	富山市民病院
教育部会部長	能 登 健 司	ゆりの木の里
福利厚生部長	鳥 津 康 二	温泉リハビリテーションいま泉病院
広報部長	向 慎 司	厚生連高岡病院
普及指導部長	太 田 悠 介	深川病院
企画調整局長	丸 本 薫	谷野呉山病院
企画部長	丸 本 薫	谷野呉山病院
保険委員会委員長	佐々木 真利子	砺波総合病院
調査部長	小 倉 佐 織	シルバーケア栗山
事務局長	広 野 弘 美	富山労災病院
総務部長	吉 波 美穂子	富山医療福祉専門学校
渉外部長	橋 爪 佳 美	チューリップ苑
財務部長	古 沢 学	富山市民病院

一般社団法人日本作業療法士協会 代議員（3名）

高 岡 厚 視

作 田 清 子

広 野 弘 美

現職者研修のお知らせ

新しく協会に入会された方は、「生涯教育制度」に沿って、「現職者共通研修」および「現職者選択研修」を受講終了することが望ましいとされています。

これらは、作業療法士として継続的な自己研鑽を支援するための、最初の必須研修になっています。

富山県作業療法士教育部では、平成25年度の「現職者共通研修」「現職者選択研修」を以下の日程で開催予定しています。

I. 現職者共通研修：10テーマ

予定日	テーマ	場所：富山医療福祉専門学校	講師
2013.6.8(土)	1. 作業療法生涯教育概論	時間：13：10～14：40	谷口氏
2013.8.7(水)	2. 作業療法における協業・後輩育成	時間：13：10～14：40	藤井氏
2013.7.4(木)	3. 職業倫理	時間：13：10～14：40	田村氏
2013.7.28(日)	4. 保健・医療・福祉と地域支援	時間：9：00～10：30	北野氏
2013.7.28(日)	5. 実践のための作業療法研究	時間：10：40～12：10	小倉氏
2013.7.28(日)	6. 作業療法の可能性	時間：13：00～14：30	能登氏
2013.8.7(水)	7. 日本と世界の作業療法の動向	時間：14：50～16：20	渡邊氏
2013.7.4(木)	8. 事例報告と事例研究	時間：14：50～16：20	森 氏
富山、高岡、砺波、 新川地区ごとに開催	9. 事例検討 10. 事例報告	場所は未定 各地区1回	

II. 現職者選択研修：90分 4 コマ

予 定 月 日	テ ー マ	場所・時間
2013.12.8(日)	身体障害領域の作業療法	富山医療福祉専門学校 講師は未定

参加される方は、下記のアドレスに必ずお申し込み下さい。

また、未定な部分については、県士会ホームページまたは、県士会ニュースに掲載しますので、随時ご確認下さい。

申し込み先・連絡先

ゆりの木の里 職業指導員（作業療法士）能登 健司

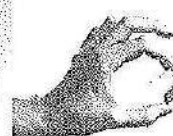
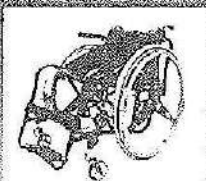
TEL：076-433-4500 FAX：076-433-4527

E-mail toyama.ot.kyouikubu@gmail.com

Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

義手・義足・補装具等 製作修理
オーダーメイド靴 製作
車椅子・スロー・補聴器
福祉用具貸与販売

あの日の、音風景がよみがえる感動補聴器

Oticon | Agil

アジャイル



(株)富山県義肢製作所
富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279

FAX (076) 425-4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子
⇒ 480円より
ベッド
⇒ 700円より



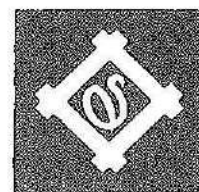
株式会社 **ウィル**

TEL (0766) **56-7099**
FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- | | |
|---------|-----------|
| ○手芸糸 | ハマナカ |
| ○刺し子 | オリムパス、ナスカ |
| ○ビーズ手芸 | トーヨー、ミユキ |
| ○マクラメ糸 | ダルマ、川端 |
| ○ちりめん手芸 | 東芸 |
| ○その他 | S.M、M.B他 |
- 各手芸材料取り扱い扱っています。



ボタン・手芸・毛糸

スピガ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

教育部よりお知らせ

生涯教育制度改訂2013について

今年度、生涯教育制度が改訂されました。

生涯教育制度改訂2013については、日本作業療法士協会ホームページの会員向け情報を参考に手続きをしてください。

たとえば

- ・基礎ポイントの有効期限という考え方がなくなり、手帳の更新申請時までの期間（5年を超えてもよい）を通じて取得したすべてのポイントを50ポイントに算入することができる。
- ・現職者共通研修については、今年度以降に現職者共通研修を修了した方に、基礎ポイント20ポイントを付与する。

など新しく制度が変わり、会員の皆さんには良い点も不都合な点もあると思いますが、各自必ず確認をして、自分の手帳管理、生涯教育の研鑽に努めて下さい。

生涯教育制度について何か不明な点がありましたら、教育部までご連絡ください。

①生涯教育制度全般について

- ・ゆりの木の里 作業療法士 能登 健司
TEL: 076-433-4500
FAX: 076-433-4527
E-mail: toyama.ot.kyouikubu@gmail.com

②SIG等基礎ポイントのシールまたは押印の手続き及び問い合わせ

- ・富山医療福祉専門学校
作業療法学科 藤井 暁子
TEL: 076-476-0001
FAX: 076-476-0002

③各地区の担当者

- 新川地区：丸川病院 細川 祥代
- 富山地区：アルペンリハビリテーション病院 中川 佑香
- 高岡地区：厚生連高岡病院 松田 公輔
- 砺波地区：にしの老人保健施設 長谷田可奈恵

賛助会員名簿

(順不同)

会 員 名 (代表者)	住 所	備 考
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉2-2-0 TEL 076-425-1166	
(株)ウィル (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL 0766-56-7099	
酒井医療(株) 金沢オフィス (リーダー 小松)	〒921-8036 金沢市弥生2-6-16 1F TEL 076-241-5721	
平 野 淑 子	〒930-0008 富山市神通本町2-3-7 TEL 076-432-6617	(株)クラフト 工房
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL 076-476-0001	
(株)スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL 076-421-3444	

編集後記

～意外な(?) 雷鳥の話～

立山などの高山に生息する、雷鳥。言わずと知れた富山の県鳥である。

プロスポーツチームの名の由来としても有名な。

その神々しい名を聞くだけで、強い鳥であろうと思う方も多いのではないかな。しかし、実際は羽が小さく飛ぶことが苦手。タカやワシから身を守るため、雷が鳴るような悪天候の日に行動するそうだ。

「名は体を表す」というように、雷鳥の名は命を守るための習性を表しているのであった。

余談だが、岐阜と長野の県鳥でもある。特別天然記念物、雷鳥。どこにいても、いつまでも県鳥であってほしいと願う。

T.T